

1 浜口雄幸 1929.7~31.4 与党² 立憲民政党

A: 協調外交とロンドン会議

外相 ³ 幣原喜重郎…協調外交の復活 <例>⁴ 日中関税協定(1930)…中国に関税自主権を認める

⁵ 1930. ⁶ ロンドン海軍軍縮会議…マクドナルド(英首相)の提唱 米・英・日・仏・伊の参加

日本全権⁷ 若槻礼次郎(主席)、⁸ 財部彪(海相)ら

→⁹ ロンドン海軍軍縮条約締結

(a) ¹⁰ 主力艦の建造中止を1936年まで延長

(b) ¹¹ 補助艦 総保有量を¹² 10(米) : 10(英) : 7(日)、大型巡洋艦は対米英6割で妥結

軍部・右翼・政友会・枢密院反発…¹³ 統帥権干犯 問題

…^{ひろはる} 軍令部長加藤寛治は辞職

…軍の編成は天皇の統帥権で内閣の権限ではないと主張

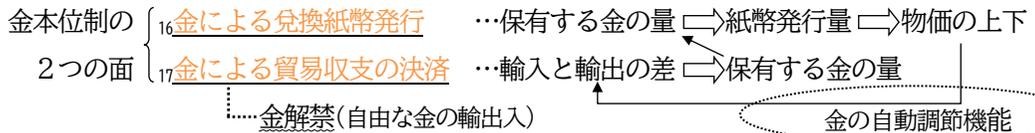
【時代順問題に挑戦】 <センター試験 2009年本試験A B>

I ②国策の手段としての戦争の放棄を約した不戦条約に調印した。

II ①補助艦の総保有量(トン数)を英・米の約7割とすることに合意した。

III ③主力艦保有量(トン数)を英・米の5分の3に制限することに合意した。

B: 緊縮財政と¹⁴金解禁 (金輸出解禁)問題…遅れていた¹⁵金本位制度への復帰



→第一次大戦後、他国は金本位制に復帰したが、日本は震災恐慌などで遅れていた

蔵相¹⁸井上準之助 …元日本銀行総裁 緊縮財政の推進

- 三大目標
- ①¹⁹緊縮財政 …予算削減など → ²⁰物価引き下げ → 国際競争力をつける
 - ②²¹産業合理化 …労働強化、低賃金 → 国際競争力をつける
 - ③²²金解禁断行(²³1930年1月)…ただし旧平価で ※平価…外国通貨との交換比率

旧平価…金輸出禁止前の水準。 1円=金750mg = 0.49ドル

新平価…この時の実態にあった水準。 1円=0.46ドル前後

旧平価では実態より円高 → 輸出に不利 → 価格を下げる努力 → さらに物価が下がる

☆²³世界大恐慌 (²⁴1929年10月～) ← 第1次世界大戦後の生産過剰

10/24 「暗黒の木曜日」…ニューヨーク²⁶ウォール街で株の大暴落 → 全世界に波及

対策 <例>²⁷ニューディール政策…1933年(米) ²⁸ローズヴェルト大統領

公共事業による失業対策など

²⁹ブロック経済 政策…本国と植民地で閉鎖的貿易 <例>米・英・仏

ドイツ・イタリアなどは植民地不足 → ファシズム・侵略へ

日本も同様 → ³⁰日満経済ブロック(円ブロック)を構想 → 満州への侵略へ

※ソ連…共産主義は計画経済なので影響少 第1次・第2次五カ年計画で生産拡大

結果 ³¹昭和恐慌 …深刻な不況状態 ³²輸出の不振 ³³正貨(金)の流出

企業³⁴操業短縮・休業・倒産 } 失業者の増加、
労働強化・賃金引き下げ・解雇 } ³⁵労働争議の増加(1931年は戦前最多2,456件)

<例>鐘淵紡績、野田醤油、東京市電、東洋モスリン

→政府、³⁶重要産業統制法 制定(1931)

紡績・製鋼など重要産業での³⁷カルテル(企業連合)結成を奨励

産業の安定、³⁸独占資本(四大財閥など)を援助 → 国家との結合

農村 ³⁹農業恐慌

- ・ ⁴⁰米価の下落…すでに1920年代に安い植民地米による圧迫
- ・ 1930年は⁴¹豊作飢饉、1931年には⁴²東北大凶作
- ・ ⁴³繭価の暴落 ← 生糸の輸出減少 ・ 失業者の帰農
- ・ 生活難 → ⁴⁴欠食児童、⁴⁵娘の身売りなど
- ・ 地主の収入減 → 地主制衰退 ・ 小作争議の増加

※のち農村救済請願運動(1932) → 政府、農山村漁村経済更正運動・救農土木事業

☆ ⁴⁶浜口首相、東京駅で右翼少年佐郷屋留雄に狙撃され重傷(1930.11)

→翌年死亡 → 総辞職(1931.4)、若槻礼次郎が首相に ※民政党内閣は継続

1 _____ 1929.7~31.4 与党²立憲民政党

A: 協調外交とロンドン会議

外相 ³幣原喜重郎…協調外交の復活 <例>⁴日中関税協定(1930)…中国に関税自主権を認める

⁵1930. ⁶ロンドン海軍軍縮会議…マクドナルド(英首相)の提唱 米・英・日・仏・伊の参加

日本全権⁷若槻礼次郎(主席)、⁸財部彪(海相)ら

→⁹ロンドン海軍軍縮条約締結

(a) ¹⁰主力艦の建造中止を1936年まで延長

(b) ¹¹_____総保有量を¹²10(米):10(英):7(日)、大型巡洋艦は対米英6割で妥結

軍部・右翼・政友会・枢密院反発…¹³_____問題

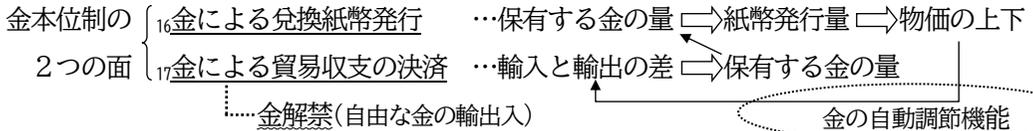
…軍令部長加藤寛治^{ひろはる}は辞職

…軍の編成は天皇の統帥権で内閣の権限ではないと主張

【時代順問題に挑戦】<センター試験 2009年本試験A B>

- I 国策の手段としての戦争の放棄を約した不戦条約に調印した。
- II 補助艦の総保有量(トン数)を英・米の約7割とすることに合意した。
- III 主力艦保有量(トン数)を英・米の5分の3に制限することに合意した。

B: 緊縮財政と¹⁴_____ (金輸出解禁)問題…遅れていた¹⁵金本位制度への復帰



→第一次大戦後、他国は金本位制に復帰したが、日本は震災恐慌などで遅れていた

蔵相¹⁸_____ …元日本銀行総裁 緊縮財政の推進

- 三大目標
- ①¹⁹_____ …予算削減など→²⁰物価引き下げ → 国際競争力をつける
 - ②²¹_____ …労働強化、低賃金
 - ③²²金解禁断行(²³1930年1月)…ただし旧平価で ※平価…外国通貨との交換比率

旧平価…金輸出禁止前の水準。 1円=金750mg=0.49ドル

新平価…この時の実態にあった水準。 1円=0.46ドル前後

旧平価では実態より円高 →輸出に不利 →価格を下げる努力 →さらに物価が下がる

☆²³_____ (²⁴1929年10月~) ←第1次世界大戦後の生産過剰

10/24 「²⁵暗黒の木曜日」…ニューヨーク²⁶ウォール街で株の大暴落 →全世界に波及

対策 <例>²⁷ニューディール政策…1933年(米) ²⁸ローズヴェルト大統領

公共事業による失業対策など

²⁹_____ 政策…本国と植民地で閉鎖的貿易 <例>米・英・仏

ドイツ・イタリアなどは植民地不足 →ファシズム・侵略へ

日本も同様→³⁰日満経済ブロック(円ブロック)を構想→満州への侵略へ

※ソ連…共産主義は計画経済なので影響少 第1次・第2次五カ年計画で生産拡大

結果 ³¹_____ …深刻な不況状態 ³²輸出の不振 ³³正貨(金)の流出

企業³⁴操業短縮・休業・倒産 } 失業者の増加、
労働強化・賃金引き下げ・解雇 } ³⁵労働争議の増加(1931年は戦前最多2,456件)

<例>鐘淵紡績、野田醤油、東京市電、東洋モスリン

→政府、³⁶_____ 制定(1931)

紡績・製鋼など重要産業での³⁷カルテル(企業連合)結成を奨励

産業の安定、³⁸独占資本(四大財閥など)を援助→国家との結合

農村 ³⁹農業恐慌 { ・⁴⁰米価の下落…すでに1920年代に安い植民地米による圧迫

1930年は⁴¹豊作飢饉、1931年には⁴²東北大凶作

・⁴³繭価の暴落←生糸の輸出減少 ・失業者の帰農

・生活難→⁴⁴欠食児童、⁴⁵娘の身売りなど

・地主の収入減→地主制衰退 ・小作争議の増加

※のち農村救済請願運動(1932)→政府、農山村漁村経済更正運動・救農土木事業

☆ ⁴⁶浜口首相、東京駅で右翼少年⁴⁷佐郷屋留雄に狙撃され重傷(1930.11)

→翌年死亡→総辞職(1931.4)、若槻礼次郎が首相に ※民政党内閣は継続